

## 「フェニックスアワード 2024」受賞団体の決定について

(一社) 東北観光推進機構は、「フェニックスアワード 2024」の受賞者として、下記のとおり決定いたしました。

「フェニックスアワード」は、東北6県及び新潟県に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に対して表彰を行うものです。東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的とした取組みで、今回が5回目となります。

今回、東北の各地からご応募いただいた団体・個人の中から、これまでの活動成果や今後の活動計画をもとに厳正な審査を行い、下記の通り受賞者を決定いたしました。当機構といたしましては、引き続き「フェニックスアワード」等の事業を通じ、東北・新潟の観光に従事いただいている事業者の方々を、微力ながら応援してまいりたいと考えております。

なお、授賞式は、2025年6月5日(木)「東北観光推進機構 第9回通常総会」の開催と合わせて実施いたします。

### 記

#### 1. 受賞者

○特定非営利活動法人SET

代表者： 三井 俊介

所在地： 岩手県陸前高田市広田町字山田52-6

○IGRいわて銀河鉄道株式会社

代表者： 鈴木 敦

所在地： 岩手県盛岡市青山二丁目2番8号

○株式会社和楽旅行社

代表者： 阿部 素子

所在地： 宮城県仙台市青葉区花京院1-5-25 花京院マンション403

#### 2. 功績概要

詳細は別紙をご参照ください。

#### 3. 授賞式

(1) 日 時：2025年6月5日(木) 第9回通常総会内にて実施予定

※第9回通常総会は14時より開始予定

(第9回通常総会については別途お知らせいたします)

(2) 場 所：ホテルメトロポリタン仙台 4階「千代の間」

宮城県仙台市青葉区中央1-1-1

TEL：022-268-2525

以 上

(別 紙) 受賞者功績概要

#### 【お問い合わせ先】

(一社) 東北観光推進機構 総務渉外部 河野・高橋

TEL：022-721-1291 FAX：022-721-1293

## 功績概要

- 大規模な宿泊施設がない陸前高田市において民泊を実現し、修学旅行の行程で陸前高田を選択する学校が大幅に増えた。
- 民泊という特色を活かして、受け入れ家庭と参加者との深い心の交流や、震災の記憶に触れることによる防災、震災学習につながる体験を提供している。
- 地産地消、地域経済活性化を促進するクーポンの発行等も行っている。

### 市内宿泊の選択肢を生み出し、修学旅行誘致に成功

- ✓ 事業開始から9年間で延べ約14000人が民泊を利用。2024年には年間延べ4000人の修学旅行生を受け入れ、アンケート調査の結果、民泊を利用した生徒から10段階中9.1以上の高評価を得た。
- ✓ 一緒にご飯を作り食べたり、交流をする時間を通じて、“またこの人に会うために陸前高田に行きたい”と思ってもらえるような繋がりが生まれている。



### 命の大切さを学べる「防災、震災学習」の実施

- ✓ 陸前高田民泊では民泊家庭が経験した東日本大震災に直接触れることができる。
- ✓ 震災から13年が経ち、震災を経験していない世代が訪れるようになったなか、震災を話すきっかけを作るためにオリジナルのカルタを開発。
- ✓ 本や映像、カルタといったそれぞれの家庭に合った方法で、防災や命の大切さを語り継いでいる。



### 地産地消・地域経済活性化を促進するクーポン発行

- ✓ 陸前高田市の食材や物品の地産地消および地域内の経済効果を高めるため、地元事業者の協力のもと民泊家庭が使えるクーポン券を発行。
- ✓ 民泊時の体験コンテンツとしても地域資源を活用していただくために、市内の施設や体験コンテンツもクーポンの対象にしている。



## 功績概要

- 鉄道事業者の特性を活かし、行政域を超えた「北いわて」エリアにおける、テーマやストーリーに基づく「こだわりの旅」を企画し、全国からの集客につなげた。
- ブランディングの知見を活かし、県や沿線自治体に対しセミナーを開催し、地域の観光推進に尽力した。
- 「北いわて」を代表する『漆』や『農林畜産業』を観光素材として扱い(産業観光)、関係人口の創出につなげた。

### 行政域を超えた「北いわて」のこだわりの旅

- ✓ 行政区を越えて運行する鉄道事業者の特性を活かし、「北いわて」という面の中で、テーマやストーリーに基づくこだわりの旅を企画し、またブランディングの手法を活用することで全国からの集客につなげた。



#### 旅する南部塾

旧南部藩の城館を、各地の専門家の案内で巡る学びの旅。自治体の枠を超えて、「南部の城」をテーマに結び付けた観光ルートの一例。



#### 岩手の鉄道遺構 廃線さんぽ

単に鉄道廃線跡や遺構を辿るだけでなく、その背景にある地域の暮らし、産業、文化にまで踏み込むことで、全国からの誘客に寄与。

### 地域ブランディングの自走を促すセミナーの開催

- ✓ 地域ブランディングを各地で行い、自走を促すために、岩手県や沿線自治体と共に「ブランディングセミナー」を定期的に実施している。



ブランディングのセオリーを学ぶセミナーの開催  
岩手県や自治体と共に実施している観光関連担当者のためのブランディングセミナー。

### 産業観光の導入による関係人口の創出

- ✓ 当地域の主産業である「漆」や「農林畜産業」をテーマとした産業観光もテーマで結びつけることにより、生産者と消費者が直接結びつき、「関係人口」の創出・拡大にもつながった。



#### 漆の郷の物語

北いわてを代表する産業の一つ「漆器生産」を、当地独自の文化を含めて紹介したツアー。ツアー参加者は当地産漆器のヘビーユーザーとなっている。



#### 北いわての農畜産業と美食を楽しむ旅

北いわてを支える産業「農林畜産業」を、生産者のこだわりから紹介したツアー。ツアー参加者は生産者と直接結びつくようになった。

## 株式会社和楽旅行社（高付加価値なオーダーメイドツアー造成による地域課題の解決と誘客拡大）

## 功績概要

- 各自治体の行う事業に在東北のランドオペレーターとして参画し、特に中華圏に対する情報発信や誘客活動の後押しを行った。
- お客様目線で地域に入り込み、新たなアプローチでの観光コンテンツの開発により、観光地として誘客を行い地域振興にも尽力している。
- 台湾千里歩道協会との関係を発展させ、台湾での宮城オルレの知名度向上と観光コンテンツ化に大きく貢献をしている。

## ランドオペレーターとしての活躍

- ✓ 観光庁や東北観光推進機構、各自治体の行う事業に在東北のランドオペレーターとして参画し、特に中華圏に対する東北の情報発信や誘客促進を図った。
- ✓ コロナ後、香港・台湾の富裕層ツアーを継続的に実施して東北への誘客を大幅に拡大、また中国、シンガポール、マレーシアからのツアーも誘致し、現在まで約5100人の誘客を実現している。



## 新たなアプローチでの観光コンテンツの開発

- ✓ 定番の観光地だけでなく、ニッチな地域の観光コンテンツの開発により、栗原市や河北町、弘前市他、旅行商品に組み込み送客を行っている。
- ✓ 特に栗原は栗駒山の魅力を如何に旅行に活かすかを自治体と共に磨き上げ、セールスを行い、現在では台湾からのシリーズツアーの送客を行うまでの成長を実現させた。



## 宮城オルレ・台湾淡蘭古道の友情の道の締結に尽力

- ✓ 宮城県と共に台湾千里歩道協会との関係を発展させ、台湾での宮城オルレの知名度向上と観光コンテンツ化に大きく貢献している。また、2023年宮城オルレと台湾淡蘭古道の友情の道の締結に尽力をした。その後積極的にオルレツアーの造成をし、シリーズでの送客を行っている。

